

耳下腺炎

患者様情報

来院されるまでの症状

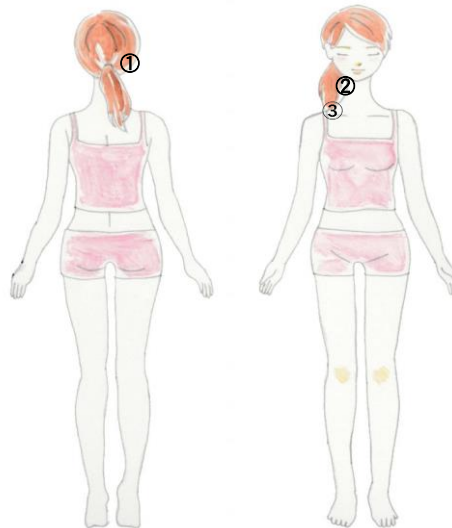
- ・坐骨神経痛、腰痛の治療で週に1回、定期的に来院されている患者様です。
- ・来院された日の前日に、右の耳下腺が腫れて痛みがあり、熱も出たとのことでした。
- ・元々扁桃腺などが弱く、免疫力が下がると炎症を起こしてしまいやすいとのことで、治療を行いました。

患 者 様	50 代 女性
初 診	2010 年 6 月
既 往 症	なし
他 の 症 状	坐骨神経痛、慢性腰痛

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・「最近疲れていた」とのことで、免疫力低下による炎症であると診立てました。
- ・まずは耳下腺の炎症を抑えるために、耳下腺近くの「翳風」のツボに少し熱めのお灸を行いました。
(炎症していて圧痛があるツボは少し熱めのお灸をすることにより炎症を抑える効果があるとされています)
- ・耳下腺付近の「天容」、そして「欠盆」のツボが硬く張っていたので鍼をして緩めました。



■ 初診後の経過

- ・「天容」に鍼をした際に「耳下腺の方まで響く」と仰っていました。
- ・次の週に来院された際に、「耳下腺の痛みはほとんどなくなり、熱も出なかった」とご報告を受けました。
- ・「翳風」の圧痛も軽減しましたが、硬いしこりが残っており、再発防止のためにも鍼で緩め、1、2回の治療でこちらの症状は落ち着きました。
- ・現在は、引き続き坐骨神経痛と腰痛の治療を続けております。

使用した主要なツボ

- ①翳風 (エイフウ) ②天容 (テンヨウ)
③欠盆 (ケツボン)

■ ひとこと添えさせていただきます

大人になってから起こる耳下腺炎は、幼少期にかかる流行性耳下腺炎とは違い、主な原因は免疫力低下による細菌やウイルス感染だと言われています。

症状は人それぞれですが、痛みがひどく高熱が続く場合は、まずは医療機関への受診をお勧めしています。

鍼灸では、痛みを抑えることの他にも免疫力をあげて、炎症が起きないように予防することも可能です。

似たような症状がありましたら、お気軽にご相談ください。

